



【10-11月の教科予定／ヤコブとヨセフ】

グリニッチ福音キリスト教会のカリキュラムはCS成長センター「成長」に沿っています。

月日	タイトル	聖書箇所
10/05	エサウとヤコブ	創世記25:19-34, 27章
10/12	ヤコブの夢	創世記28章
10/19	神の訓練の時	創世記29:1-30, 30:25-43
10/26	神と格闘する	創世記31, 32-33, 35章
11/02	ヨセフの夢	創世記37章
11/09	獄中で夢を解く	創世記39-40章
11/16	エジプトの大臣となる	創世記41章
11/23	神の計画の実現	創世記42-45章

あらかじめ聖書箇所を読んでおきましょう！

10月から再び旧約聖書に戻ります。今回は「ヤコブとヨセフ」に焦点を当てます。彼らは当然クリスチャンではありませんし、新約聖書時代／21世紀に生きている私たちとは非常に異なった生活習慣、世界観を持っていました。しかし彼らは、私たちが信じ、従い、また体験している同じ神に出会い、その神より訓練を受けて後世に信仰者の歩みの模範を残すことになったのです。彼らが神に出会って行く過程を私たちも追体験していく中で、彼らの信仰が成長して行ったのと同じように、私たちの信仰も成長させられていったらと願います。■

【今週の暗唱聖句】

一杯の食物と引き替えに自分のものであった長子の権利を売ったエサウのような俗悪な者がないようにしなさい。ヘブル12章16節

聖書が誰かを「俗悪」と呼ぶのを厳しいことのように感じるかも知れない。しかしパチンコ中毒の母親に始まり、昼間から酒浸りの主婦たち、賄賂に目がくらんで名誉も仕事も家族も全て失う人、小遣い欲しさに身を売る高校生に至るまで俗悪は世に満ちている。俗悪と訳されている言葉は、汚らわしい世俗的とも訳されるが、一切の

「高尚なこと」「神のこと」に関心がなく、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢のみに突き動かされており、この世の事のみが目に向いている人のことを指している。信仰を養うとは「これから起ることを見る目、目に見えない世界を見る目」を養うことである。信仰のあるところに、健全な自尊心も宿りうるのである。■



【今週の英語】

Do you want to live a supernatural life of victory? The VICTORY EXPRESS runs on two tracks: TRUST and OBEY.

勝利に満ちた奇跡の人生を送りたいと思いませんか。特急「勝利」が走る二本のレールは何でしょうか？信頼と従順です。

【先週のMESSAGEより】 感謝を忘れない ルカ17:11-19

●十人のツアラアトに冒された人たちは、いやされるのを待たずして「祭司に見せなさい」というイエスの命令に従った。彼らは「見ずに信じる信仰」を働かせ、何よりも願っていたツアラアトからのいやしを手に入れることができたのであり、普通ならここでめでたし、めでたしとなったはずである。しかし話しはここで終わらなかった。

●実は十人のうちの一人、グループの中の唯一人のサマリヤ人がいやされたと知ってすぐに戻ってきた。彼は心から神をあがめ、イエスに感謝を表した。しかしここでイエスはご自分の「失望」をあらわにされた。「十人いやされたのではないか？」と。



●イエスはなぜこの時に限ってこう言われたのであろうか。人から「利用された」と感じた時に誰もががっかりするように、イエスはユダヤ人たちの信仰が御利益信仰の域を超えておらず、神であるご自身との真実な交わりを求めなかったことに対してがっかりされたのだ。イエスは私たちの信仰が成熟することも何より願っておられる。その第一歩こそ「感謝」なのである。

【旧約聖書を語呂で覚えよう(4/4)】

先週までは「初めに神が天地創造／木の実を食べてすぐ墮落／ノアの箱舟大洪水／言葉分らずバベルの塔／人は散り散り国々できる／神に選ばれアブラハム、星を見上げて信仰義認、愛するひとり子イサクをささげた／ヤコブは別名イスラエル／十二部族は彼から生まれ／エジプト下って合流したが／めぐりめぐって奴隷となって全部で四三〇年。モーセ八十、これからだ。十の災い過ぎ越して、紅海渡り、シナイ山。十戒受けたが守れない。だから必要、犠牲の動物。ヨシュア・士師ルツ・サム列王。初代の王ははサウル王。」でした。今週の語呂合わせで旧約聖書を全部概観できたことになります。是非、張り切って覚えて下さい。

救い主	待ちに待った 四百年の時を経て	城壁再建	ミヤ帰還して エズラ・ネヘ	捕囚	バビロン 北滅亡。南も滅んで たちの働き空しく	預言者	南北王朝	バカ殿様で	ソロモン王	神殿建てた	ダビデ王	王国確立
-----	--------------------	------	------------------	----	-------------------------------	-----	------	-------	-------	-------	------	------